



教えて！外務省／

知っておきたい国際協力 Vol.9

日本が行っている平和構築分野の協力や、この分野で活躍する専門家の人材育成事業について紹介します。

今月の
テーマ

平和構築

委託先の広島平和構築人材育成センター（HPC）を通じて人材育成事業を実施。国内研修や修了生のキャリア構築支援を行うほか、国連ボランティア計画（UNV）と協力し日本人のUNV派遣を支援している。

答えてくれた人

総合外交政策局 国際平和・安全保障協力室 人材育成事業・訓練班

左から

調査員 岸 菜々海さん

KISHI Nanami

課長補佐 市原 竜彦さん

ICHIHARA Tatsuhiko

調査員 山本りささん

YAMAMOTO Risa

Q どうして日本は平和構築分野での国際協力を行うの？

A この分野での積極的な協力が、世界と日本の **平和や安定** につながるからです。

日本が取り組んでいる平和構築分野での協力と聞くと、国連平和維持活動（PKO）への自衛隊などの派遣を思い浮かべる方も多いかもしれません。しかし、日本はそれ以外の開発や、国の復興・再建に関わる部分など、平和構築に関するさまざまな分野でも包括的な協力を行っています。また、その分野で活躍する専門家の人材育成にも力を入れています。

今年終戦から77年目を迎えた日本は、平和国家として一貫した歩みを進めてきました。長年にわたり平和を定着させてきた日本の経験と知見は、世界の平和構築のために生かされていると考えています。

また、グローバル化が進んだ今日では、日本の安全を守るという側面から見ても、世界の平和と安定を促進していく必要があります。

国際社会が紛争などによって不安定になると、大量破壊兵器や弾道ミサイル、サイバー攻撃、テロ攻撃といった脅威が国境を越えて広がります。また、難民問題も日本と無縁の話ではありません。

平和構築分野での協力は、紛争が起きた国だけに係るものではなく、世界と日本の平和にもつながっているのです。

Q 平和構築分野の文民の人材育成がなぜ重要なのか？

A 平和構築には、**多岐にわたる取り組み**が必要不可欠だからです。

平和構築は、紛争が起きた国の平和の定着と再建を目指すものです。また、ひとつの独立した分野として存在するのではなく、開発、法律、行政、教育、保健・衛生、環境など幅広い分野を包括しています。

平和構築の初期の段階では、停戦・軍事監視といった軍人や警察官などによるPKOが主

となります。しかし、次の段階として、社会秩序を保つための政府・行政機能と社会経済基盤の回復、法整備、難民の支援などに取り組む必要があります。社会がいつまでも不安定なままだと、再び紛争が起きかねないからです。失われてしまった社会の仕組みを再構築していく際に求められるのが、軍人や警察

官ではない民間人（文民）の専門家なのです。

この民間人による平和構築の専門家を増やすため、日本は2007年から毎年「平和構築人材育成事業」を実施しています。15年には「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業」として内容を刷新し、人材の発掘・育成・キャリア構築を包括的に行うようになりました。この運営は委託先である広島平和構築人材育成センターが担っています。

たとえば、平和構築・開発分野で今後キャリアを形成する意志をもつ方を対象にした「プライマリー・コース」では、約5週間の国内研修と、1年間の国連ボランティアとしての海外派遣を行っています。また、そのなかで将来のキャリアプランの支援もしています。



プライマリー・コースの国内研修では、ロールプレイやグループワークなどを行い、国連・国際機関で重視されている高い業務遂行能力が習得できるように工夫している。



修了生の梶田友理さんは、海外派遣中に「国連スーダン統合移行支援ミッション」が率いる平和構築に関するニーズの調査団に参加。隣国からの帰還民や国内避難民からのヒアリングを行った。

広い分野で平和構築の最前線を支えています。

活動の場もさまざまです。国連・国際機関の本部で活躍している方、現地で自分のチームを率いている方、その両方を経験しながらキャリアを積んでいる方もいます。世界各地で修了生たちが活躍している姿に我々も勇気づけられます。

平和構築の「平和」とは紛争がない状態というだけでなく、政治・経済的に安定していて、生きるうえの不安や差別がない社会であることも大きく関わっています。さまざまな現場で日本人としてその手助けができるのは、

とてもやりがいがあることだと思っています。平和構築分野の人材育成事業を通じて、この分野で新たにキャリアを形成したい方の入口を提供したいと考えています。興味と関心がある方は、門戸を叩いていただけると嬉しいです。



平和構築分野の
人材育成事業について

最新情報や関連情報については、外務省のウェブサイト（左のQRコード）をご確認ください。



現在、「国連ソマリア支援ミッション」の官房長補佐を務める修了生の三輪幸代さん（前列左端）は、ハイレベル会議の運営や、国連諸機関との連携・調整を担う。写真は地方視察時のもの。